

授業科目の区分等：専門教育科目 会計学科 基幹科目

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	1年	1	必修
担当教員			
小島 一富士・吉田 和広・大泉 寛			
A(会計学科)	S(専門科目)	AC(会計)	102(基礎・入門科目)

授業のねらい(概要)	個人及び小規模な企業の商取引の実態を簿記の側面からの的確に捉え、適切に会計情報を伝達・開示する企業会計の果たす役割の重要性を理解し、簿記を通じた実際の企業活動を理解した会計実務者を養成することを目的とする。具体的には、「商業簿記Ⅰ」の理解を踏まえ、仕訳、転記、決算、損益計算書・貸借対照表の作成を演習形式で学習する。
授業計画	<p>第1回 【遠隔】固定資産 有形固定資産の取得と減価償却費の計算方法について 問題を解答し、解説を実施する。 予習(時間)：商業簿記Ⅰで実施した授業の復習をする(120) 復習(時間)：授業内で実施した答案練習をもう一度解答し、完答できるようにする(120)</p> <p>第2回 【遠隔】ミニテスト 有形固定資産の売却 問題を解答し、解説を実施する。 予習(時間)：商業簿記Ⅰで実施した授業の復習をする(120) 復習(時間)：授業内で実施した答案練習をもう一度解答し、完答できるようにする(120)</p> <p>第3回 【遠隔】有形固定資産について宿題の答え合わせ その他の債権債務(1)未収金・未払金、前払金・前受金 問題を解答し、解説を実施する。 予習(時間)：商業簿記Ⅰで実施した授業の復習をする(120) 復習(時間)：授業内で実施した答案練習をもう一度解答し、完答できるようにする(120)</p> <p>第4回 【遠隔】有形固定資産及び減価償却についてミニテスト その他の債権債務(2)仮払金・仮受金、商品券・他社商品券 問題を解答し、解説を実施する。 予習(時間)：商業簿記Ⅰで実施した授業の復習をする(120) 復習(時間)：授業内で実施した答案練習をもう一度解答し、完答できるようにする(120)</p> <p>第5回 純資産について 費用収益の見越、繰延 問題を解答し、解説を実施する。 予習(時間)：商業簿記Ⅰで実施した授業の復習をする(120) 復習(時間)：授業内で実施した答案練習をもう一度解答し、完答できるようにする(120)</p> <p>第6回 精算表の基礎(1)練習問題1・2 問題を解答し、解説を実施する。 予習(時間)：商業簿記Ⅰで実施した授業の復習をする(120) 復習(時間)：授業内で実施した答案練習をもう一度解答し、完答できるようにする(120)</p> <p>第7回 精算表の基礎(2)練習問題3・4 問題を解答し、解説を実施する。 予習(時間)：商業簿記Ⅰで実施した授業の復習をする(120) 復習(時間)：授業内で実施した答案練習をもう一度解答し、完答できるようにする(120)</p> <p>第8回 精算表の推定問題 問題を解答し、解説を実施する。 予習(時間)：商業簿記Ⅰで実施した授業の復習をする(120) 復習(時間)：授業内で実施した答案練習をもう一度解答し、完答できるようにする(120)</p> <p>第9回 精算表のミニテスト 貸借対照表、損益計算書の作成 問題を解答し、解説を実施する。 予習(時間)：商業簿記Ⅰで実施した授業の復習をする(120) 復習(時間)：授業内で実施した答案練習をもう一度解答し、完答できるようにする(120)</p> <p>第10回 伝票会計について 問題を解答し、解説を実施する。 予習(時間)：商業簿記Ⅰで実施した授業の復習をする(120) 復習(時間)：授業内で実施した答案練習をもう一度解答し、完答できるようにする(120)</p> <p>第11回 日商簿記検定3級の過去問題を題材に学習(1)第118回過去問題 問題を解答し、解説を実施する。 予習(時間)：商業簿記Ⅰで実施した授業の復習をする(120) 復習(時間)：授業内で実施した答案練習をもう一度解答し、完答できるようにする(120)</p> <p>第12回 日商簿記検定3級の過去問題を題材に学習(2)第119回過去問題 問題を解答し、解説を実施する。 予習(時間)：商業簿記Ⅰで実施した授業の復習をする(120) 復習(時間)：授業内で実施した答案練習をもう一度解答し、完答できるようにする(120)</p>

	<p>第13回 【課題】日商簿記検定3級の過去問題を題材に学習(3)第121回過去問題問題を解答し、解説を実施する。</p> <p>予習(時間):商業簿記Iで実施した授業の復習をする(120) 復習(時間):授業内で実施した答案練習をもう一度解答し、完答できるようにする(120)</p> <p>第14回 【課題】日商簿記検定3級の過去問題を題材に学習(4)第122回過去問題問題を解答し、解説を実施する。</p> <p>予習(時間):商業簿記Iで実施した授業の復習をする(120) 復習(時間):授業内で実施した答案練習をもう一度解答し、完答できるようにする(120)</p> <p>第15回 【課題】日商簿記検定3級の過去問題を題材に学習(5)第124回過去問題問題を解答し、解説を実施する。</p> <p>予習(時間):商業簿記Iで実施した授業の復習をする(120) 復習(時間):授業内で実施した答案練習をもう一度解答し、完答できるようにする(120)</p>
授業を通して身に付けることができる能力(DP)	<p>DP(商学部)の2項目を意識した科目となっている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 情報の収集、分析を行い、進んで課題解決に臨む姿勢 2. 専門的分野の学びを、実務や社会で応用できる能力 <p>DP(会計学科)の1項目を意識した科目となっている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会計学の専門的知識を持ち、職業会計人として全うできる能力 <p>【身に付くスキル】 生涯学習力・論理的思考力</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> ①簿記一巡について理解する。 ②日商簿記検定3級範囲の日常取引について、仕訳、転記の方法を理解する。 ③各種の帳簿の記帳方法を理解する。 ④決算手続きについて理解し、貸借対照表、損益計算書が作成できるようにする。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	課題の全体的な注意点などを授業内で解説する。
履修上の注意	<p>次の事項について十分に注意すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)講義の他、朝7時又は8時15分から予習復習を行う (2)web視聴を前提とした反転講義を行う (3)欠席の場合には事前に教員に連絡する (4)欠席(公欠含む)6回で履修放棄とみなす (5)商業簿記Iの履修が前提となる。
成績評価の方法・基準	<p>学期末に行う「筆記試験」(50%) 授業内外の「課題」(50%)</p>
教科書	経理研究所において利用している「日商簿記3級」のテキストを利用する。
参考書・教材	
備考	<p>演習科目/実務家教員による授業</p> <p>2020年度は、13~15回は課題研究として学修する。 当初シラバスの「授業時の講義内容」に充当する資料と「授業時の指示」を代替する資料の配信、及び作業指示を高崎商科大学経理研究所のwebシステムなどで行う。各回全体で330分の学修を想定している。</p> <p>「成績評価の方法・基準」欄の「筆記試験」は、本学の感染状況への対応を踏まえて「最終レポート」で代替することがある。その場合には速やかに高崎商科大学経理研究所のwebシステムなどで実施方法の詳細と評価基準を受講生に告知する。</p>
教員との連絡方法	高崎商科大学経理研究所のwebシステムを通じたメール(アドレスは授業内で周知)